

源氏と狭衣

GENJI & SAGOROMO
Transcription and Dissemination of Tales

物語の
書写と伝流



源氏物語絵巻：四季源氏 / 狩野祐清 [画] (文庫30 B423)

会期／
2026年 9月18日(金)
~11月8日(日)

時間／10:00~18:00(日曜日10:00~17:00)

閉室日／9月21日(月・祝)~23日(水・祝)

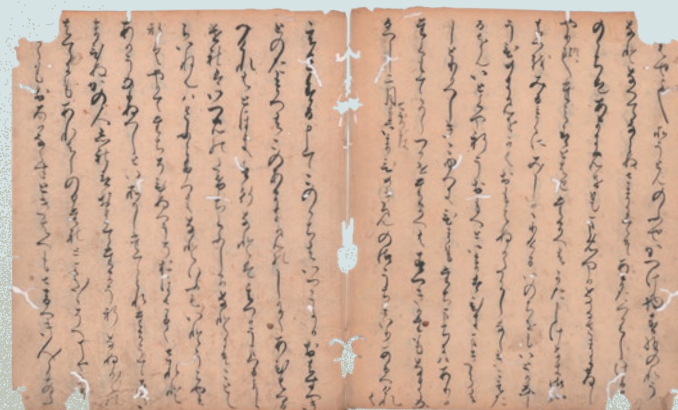
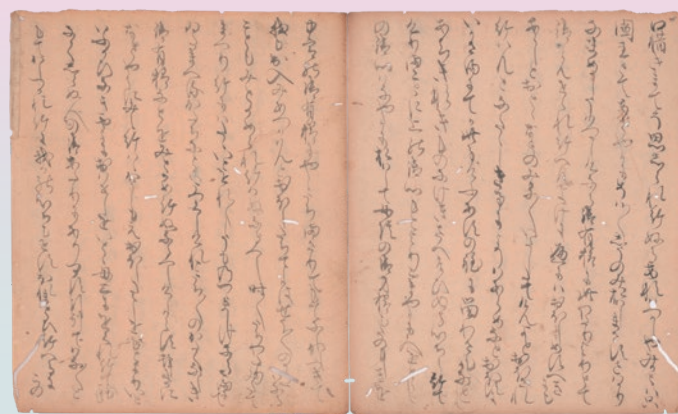
臨時短縮開室日(10:00~17:00)

9月19日(土)、9月26日(土)、11月5日(木)~7日(土)

入場無料

図書館入館資格のない方でも
ご覧いただけます。

会場／
早稲田大学総合学術情報センター2階展示室
主催／早稲田大学図書館 協力／平安朝文学研究会



狭衣物語残簡 (ハ12 5152)

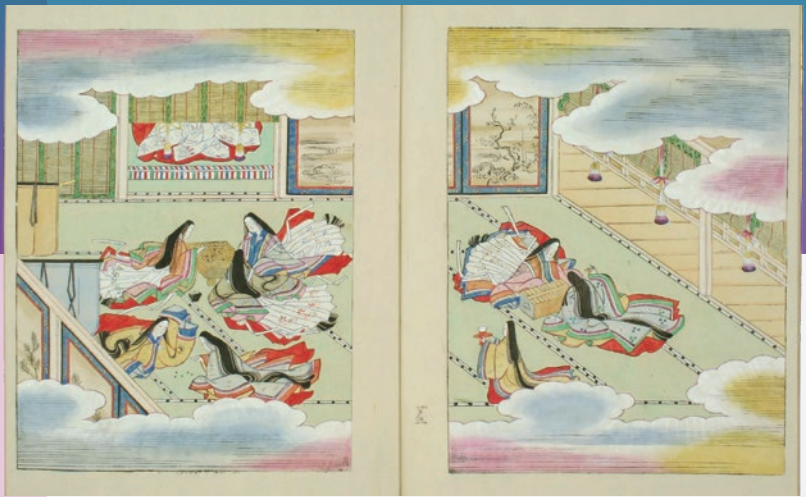
源氏と狭衣

物語の書写と伝流

『源氏物語』と『狭衣物語』と聞いて、両方知っている人はどれぐらいいるでしょうか。

『源氏物語』と『狭衣物語』は、源氏・狭衣と並び称された、平安時代を代表する作り物語です。また、『源氏物語』『狭衣物語』の主人公である「光源氏」と「狭衣」も、平安時代のフィクションを代表する男性主人公です。

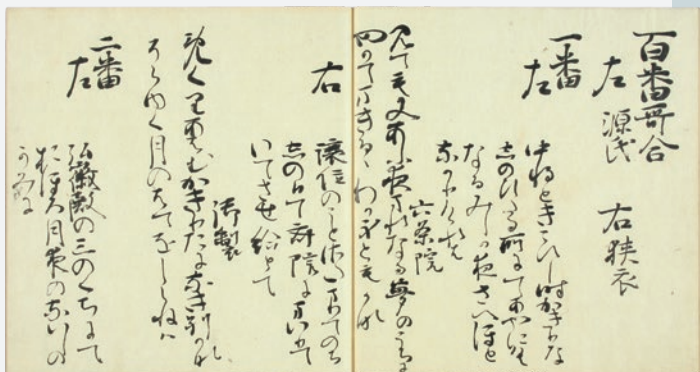
例えば、藤原定家には「源氏狭衣歌合」という『源氏物語』と『狭衣物語』の歌を集め歌合形式にした作品がありますし、鎌倉初期の文芸評論書である『無名草子』には「『狭衣』こそ、『源氏』に次ぎては世覚えはべれ」と述べられています。



栄花物語・目録,1-8 (リ5 6661)

本展では、『源氏物語』と『狭衣物語』を中心とした当館所蔵資料をご紹介します。

『源氏物語』や『狭衣物語』は有名な作品ですが、平安時代に成立したものがそのまま現在に読まれているわけではありません。書写され、注釈を付され、絵に描かれ、板木に刷られ、と、さまざまな人たちの手によって読まれ、研究され、楽しまれているからこそ、現在まで遺っているわけです。



物語二百番歌合 / [藤原定家] [撰] (文庫30 A197)

今回初公開となる「狭衣物語残簡」(へ12 5152)は放射性炭素年代測定を行いました。長く伝わり遺された資料が、現代の自然科学的分析により得られた成果も紹介いたします。

本展で、物語がどのように伝わり、楽しまれて来たかをお楽しみください。なお会期中の9月26日(土)に、本展にご協力いただく平安朝文学研究会のシンポジウムを開催いたします。



『狭衣物語』巻三・狭衣が今姫君を訪れる場面の版本の挿絵(左)と古筆残簡(右)



入場無料

図書館入館資格のない方でもご覧いただけます。

会期

2026年9月18日(金)～11月8日(日)
閉室日／9月21日(月・祝)～23日(水・祝)

時間

10:00～18:00(日曜日10:00～17:00)

臨時短縮閉室日(10:00～17:00)
9月19日(土)、9月26日(土)、
11月5日(木)～7日(土)

会場

早稲田大学総合学術情報センター
2階展示室

最新の情報は図書館ウェブサイト
(<https://www.waseda.jp/library/>)を
ご確認ください。



源氏物語扇面画帖 / 住吉如慶 [画] (文庫30 B426)



狭衣物語残簡(へ12 5152)